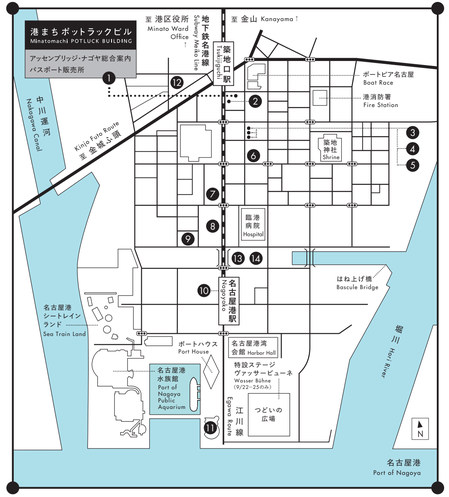
MINATOMACHI MAP



Tsukiji Kaze Square

Tsukiji Kaze Square

Tsukiji Kaze Square

Tsukiji Kaze Square

Tsukiji Kaze Square

1 General Information Center
アッセンブリッジ・ナゴヤ総合案内所

港まちポットラックビル
Minatomachi POTLUCK BUILDING
(港区名港1-19-23)
パスポート販売所
商店街の旧文具店ビルを再生した港まちの新たな拠点スペース。まちづくりの活動のほか、アートプログラムなどさまざまな事業を展開。
→ 1F｜下道基行
2F｜コラクル＋渡辺英司
3F｜徳重道朗

2 旧・西本整骨院
Former Osteopathic Clinic
(港区名港1-19-18)
1F：診療室, 2F：住居のスペース。
近年、閉院。
→ 1F｜オル太、2F｜城戸 保

3 ボタンギャラリー
Botão Gallery
(港区名港1-15-14)
旧・ボタン店を改修したギャラリー。
→ 中尾美園

4 旧・潮寿司
Former Sushi Bar
(港区名港1-15-13)
かつて人気のあった寿司店を再活用する。
→ L PACK.、ゴードン・マッタ＝クラーク
「空き家再生スクール」

5 旧・いずみや染物店
Former Kimono Make-Over Shop
(港区名港1-15-12)
和装職人の店舗を展示空間に。
→ 鈴木悠哉

6 旧・名古屋税関真砂寮
Former Masago Dormitory of Nagoya customs
(港区名港1-16-10)
かつて税関職員の寮であった建物の外壁を利用。
→ 外壁｜鈴木悠哉

7 第3佐野コーポ1F
On the first floor of Sano Building Part 3
(港区浜2-1-10)
普段はアーティストのスタジオとして使用。
→ トラベルムジカ｜
アーカイブ展示会場

8 わかまつ商店
Glossary Store Wakamatsu
(港区浜2-2-6)
昔から港まちの人々に親しまれる、食料品店。
→ ファサードテント｜鈴木悠哉

9 旧・名古屋税関港寮
Former Minato Dormitory of Nagoya customs
(港区浜2-4-10)
税関の職員研修のための旧・寮宿舎。
→ 1F｜臼井良平、玉山拓郎、ヒスロム、山本聖子
2F｜堀井ゆい、遠藤俊治、クリス・チョン・チャン・フイ、山本聖子
庭｜鈴木悠哉
「みなとまちガーデンプロジェクト」

10 名古屋港ギャラリー
Port of Nagoya Gallery
(地下鉄「名古屋港」駅地下通路)
地下鉄構内にあるギャラリースペース。
→ 鈴木悠哉

11 名古屋港ポートビル展望室
NAGOYA PORT BUILDING Observation Room
(港区港町1-9)
航船をイメージしたシンボリックなビル。
→ 展望室｜城戸 保

12 慶和幼稚園
9.25(日)ワークショップのみ
Keiwa Kindergarten
(港区港栄4-4-18)
岡本太郎の壁画のある伝統ある幼稚園。
→ トラベルムジカ｜ワークショップ会場

13 港橋広場公園
9.25(日)コンサートのみ
Park of Minatobashi Hiroba
(港区入船1-6)
春には桜が満開になる運河を埋立てた公園
→ トラベルムジカ｜コンサート会場

14 ハーバーロッジなごや
Harbor Lodge Nagoya
(港区入船1-6-3)
名古屋港駅近くの船員宿泊施設。
「アートホテルプロジェクト」

「アッセンブリッジ・ナゴヤ2016」

世界的に活躍する国内外のクラシック音楽家たちを招き、
港まちはこれまでにない規模の音楽に包まれます。
海の見えるガーデンふ頭には、
港まちと世界をつなぐキーワード「水」の名を冠した
特設ステージ《水の劇場（ヴァッサービューネ Wasser Bühne）》を設置し、
名古屋フィルハーモニー交響楽団によるオーケストラ特別コンサートなど、
祝祭的な野外公演を開催します。
現代美術展では「パノラマ庭園」をテーマに、港まち全体を会場に、
このエリアのリサーチをもとにしたアーティストの新作やプロジェクトなど、
さまざまな作品がまちへと入り込んでいきます。
また作品展示のみならず、
イベントやトーク、ワークショップなどのプログラムを通して、
庭を回遊するように港まちを楽しめる展覧会を開催します。
この秋、音楽とアートによって世界につながる港まちにご期待ください！

Assembridgeは、
Assemble（集める、組み立てる）とBridge（橋）を組み合わせた、新しい言葉です。

ASSEMBRIDGE NAGOYA 2016
2016.9.22 Thu. – 2016.10.23 Sun. ●MUSIC 9.22 Thu. – 9.25 Sun. ●ART 9.22 Thu. – 10.23 Sun.
VENUES: Around the Nagoya Subway TSUKIJIGUCHI Station to NAGOYAKO (Port of Nagoya) Station area
www.assembridge.nagoya

港まちへのアクセス
●名古屋駅から約25分
市営地下鉄東山線「栄」駅乗り換え。
名城線金山方面「名古屋港」行き、
「築地口」駅、「名古屋港」駅（終点）下車。
●金山駅から約10分
市営地下鉄名港線「名古屋港」行き、
「築地口」駅、「名古屋港」駅（終点）下車。

事務局 Secretariat
〒455-0037 名古屋市港区名港1-19-23
港まちポットラックビル
TEL 052-654-7039 FAX 052-654-8912
E-MAIL contact@assembridge.nagoya
Minato-machi POTLUCK BUILDING
1-19-23 MEIKOU, MINATO-KU, NAGOYA, AICHI 455-0037 JAPAN
TEL +81(0)52 654 7039
www.assembridge.nagoya

●主催
アッセンブリッジ・ナゴヤ 実行委員会
構成団体：
名古屋市（観光文化交流局文化振興室）
港まちづくり協議会
名古屋港管理組合
(公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団
(公財)名古屋市文化振興事業団

●協賛
名古屋芸術大学
伊勢湾海運株式会社
株式会社フジトランス コーポレーション
名港海運株式会社
名古屋埠頭株式会社
名古屋音楽大学
小西・中村特許事務所

●協力
名古屋市交通局
株式会社 丸協
株式会社 グレートマジン

●後援
（公財）名古屋みなと振興財団

●企画体制
音楽｜ディレクター：中村ゆかり
アート｜ディレクター：服部浩之
アート｜プログラムディレクター：
Minatomachi Art Table, Nagoya (MAT, Nagoya)
（吉田有里、青田真也、野田智子）
アーキテクト：米澤 隆
デザイン：中西麦介、清田由夫、岡田和奈佳
ウェブデザイン：石垣直洋

●表紙
写真：城戸 保

MUSIC / ART / MINATOMACHI

アッセンブリッジ・ナゴヤ2016

2016.9.22（木・祝）**－10.23**（日） 会場：名古屋港～築地口エリア一帯
●MUSIC 9.22（木・祝）－9.25（日） ●ART 9.22（木・祝）－10.23（日） 休館日：9.26（月）、10.3（月）、11（火）、17（月）
www.assembridge.nagoya

現代美術展 EXHIBITION

パノラマ庭園 ―動的生態系にしるす―
PANORAMA GARDEN Discovering Signs in an Alternative Ecosystem

2016.9.22（木・祝）**－10.23**（日） 11:00－19:00
休館日：9.26（月）、10.3（月）、11（火）、17（月）
※名古屋港ポートビル展望室は10.17（月）のみ休館。開場時間は9:30–17:00

会場：港まちポットラックビル、旧・名古屋税関港寮、名古屋港ポートビル、
ボタンギャラリー、旧・潮寿司、ほか、名古屋港エリア内

パスポート：700円（あいちトリエンナーレ2016のチケット提示の方は600円）
※パスポートは、名古屋港ポートビル展望室入場券が含まれます。※中学生以下は無料（ただし名古屋港ポートビル展望室は除く）
※パスポートは、ご本人に限り会期中何度でも入場可。（ただし名古屋港ポートビル展望室は1回のみ）
※会期中に、港まちポットラックビル「アッセンブリッジ・ナゴヤ総合案内」で購入いただけます。

2016.9.22 (Thu/Holiday) – 10.23 (Sun) 11:00–19:00 *NAGOYA PORT BUILDING observation room 9:30–17:00
Closed on 9.26 (Mon), 10.3 (Mon),11 (Tue),17 (Mon). *NAGOYA PORT BUILDING observation room is closed on 10.17 (Mon).

Venues : Minatomachi POTLUCK BUILDING, NAGOYA PORT BUILDING,
Botão Gallery and other places in the Port of Nagoya area

Passport : ¥700 (¥600 by showing a ticket of AICHI TRIENNALE 2016)
*An admission fee of NAGOYA PORT BUILDING observation room is included in the Passport fee.
(Junior High School students or younger are admitted free except NAGOYA PORT BUILDING observation room.)

●企画｜Planning
服部浩之、Minatomachi Art Table, Nagoya [MAT, Nagoya]
（吉田有里、青田真也、野田智子）
Hiroyuki Hattori / Minatomachi Art Table, Nagoya[MAT, Nagoya] (Yuri Yoshida, Shinya Aota, Tomoko Noda)

Minatomachi Art Table, Nagoya [MAT, Nagoya]

港まちをフィールドにしたアートプログラム。このエリアで活動する「港まちづくり協議会」が母体となり「港まちポットラックビル」を拠点に、現代美術展やスクール、空き家活用などの活動を展開している。

MAT, Nagoya is a program planned and organized by Joint Committee of Port Town, an organization dedicated to community development through cooperation between residents and local government in the Port of Nagoya area. The Minatomachi Potluck Building serves as MAT, Nagoya's base of operations.

www.mat-nagoya.jp

詳しいイベント内容、最新の情報はウェブサイトをご確認ください。 www.assembridge.nagoya

SCHEDULE

MAP

「パノラマ庭園 ―動的生態系にしるす―」

9.22（木・祝） 11:00–19:00
エキシビション コラクル＋渡辺英司, 徳重道朗… 1 オル太… 2 城戸 保… 2 1 中尾美園… 3
ゴードン・マッタ＝クラーク… 4 鈴木悠哉… 5 6 8 9 10
碓井ゆい、臼井良平、遠藤俊治、クリス・チョン・チャン・フイ、玉山拓郎、ヒスロム、山本聖子… 9

休館日：9.26（月）、10.3（月）、10.11（火）、10.17（月）

10.23（日）

プロジェクト	「L PACK.：UCO」（L PACK. 滞在予定 9.22(木)–25(日)、9.30(金)–10.2(日)、10.13(木)–23(日)）	営業時間 13:00–22:00		4
プロジェクト	「下道基行：見えない風景」			1
アーカイブ展示	「トラベルムジカ：旅する楽譜とみなとまち」			7
アートホテルプロジェクト				14
9.22(木)	14:00–16:00	トーク「参加アーティストによるギャラリートーク vol.1」		1
	19:30–21:00	イベント「ヒスロム：『美整物－(例えば)を巡る』映像上映会」		1
9.24(土)	15:00–18:00	ワークショップ「コラクル＋渡辺英司：The Content of a Book｜本の中身/小さな貨物船」	（要予約）	1
9.25(日)	10:00–16:00	ワークショップ「トラベルムジカ：旅する楽譜とみなとまち」	（要予約）	12
	13:30–14:00	イベント「L PACK.×安田祥子：コーヒーとヴァイオリン」	（要予約）	4
	17:00–18:00	コンサート「トラベルムジカ：旅する楽譜とみなとまち」		13
10.13(木)	19:30–21:00	トーク「地域美学スタディvol.3 平野千枝子：食と場｜ゴードン・マッタ＝クラークの実践を通じて」		1
10.15(土)	19:30–21:00	トーク「『空き家再生スクール』報告会」		1
10.20(木)	19:30–21:00	トーク「地域美学スタディvol.4 土屋誠一：国家／社会／アート―日本の端から見えるもの」		9
10.22(土)	19:30–21:00	イベント「ヒスロム：パフォーマンス」		9
10.23(日)	14:00–16:00	トーク「参加アーティストによるギャラリートーク vol.2」		9

These events are conducted in Japanese only except the workshop by Coracle + Eiji Wanatabe on 9.24(Sat).

パノラマ庭園 ──動的生態系にしるす──

PANORAMA GARDEN Discovering Signs in an Alternative Ecosystem

「パノラマ庭園 ──動的生態系にしるす──」では、名古屋港界隈をひとつの「庭」に見立て、作庭するように、まちにアーティストや作品が入り込んでいます。

「庭」とは人が長い時間をかけて創造した自然環境と関わる方法であり、つくり手の世界観があらわれるひとつの小宇宙とも言えるでしょう。「庭」は人が介在に手を加えることで、新たな姿へと変容していきます。「まち」も庭と同様に、人が関わり対話を重ね続けることで、新たな「まち」へと日々変化していきます。常に動き続ける「まち」の様相をひとつの生態系と捉え、アーティストや作品が、鳥のようにまちを眺め種子を運び、虫のようにまちのすき間に入り込み、その生態系に何かのきっかけを残すことを試みます。

本展では、アーティストが名古屋港エリアの特性・背景を、さまざまな角度から読み込みながらリサーチを行い、新たに制作した作品を中心に発表します。作品展示室には名古屋港エリアの空きスペースだった場所を活用し、空間に合わせ構成したインスタレーションや作品展示を行います。その他、展覧会のプログラムとして、期間限定のカフェスペースの運営、ワークショップやトークなどのイベントも開催いたします。さらに名古屋港エリア内の宿泊施設と連携した「アートホテルプロジェクト」、参加者とワークショップ形式で改修を進めた「空き家再生スクール」、コミュニティガーデンを展開する「みなとまちガーデンプロジェクト」との連携など、この港まちならではの協働による展覧会の広がりにもご期待ください。

PANORAMA GARDEN – Discovering Signs in an Alternative Ecosystem – uses the Port of Nagoya area to resemble a "garden" by artists' works pervading into the town as though creating a garden.

A "garden" is a method humans have created through time to relate with the natural environment—which also could be interpreted as a small universe exemplifying its creator's vision of the world. A "garden" can metamorphose into a new appearance when humans give deliberate thoughts and arrangements. A "town" can alter in the same manner too, evolving day by day through accumulated human relationships and conversations. Perceiving the "town" as one ecosystem constantly in motion, this exhibition envisions artists to view the town as though a bird and deliver their artworks as though seeds, and enter interspaces in the town as though insects, aiming to leave unpredicted opportunities within the ecosystem.

This exhibition will mainly feature new works created for this occasion, which each connote features and backgrounds of the Port of Nagoya area through prudent researches and studies from various aspects. Vacant spaces left out of use in the Port of Nagoya area are utilized as exhibition rooms, which each installations and artworks would be taking full advantages of its space. Other related programs would include pop-up cafe operations, workshops, talk events, and other occasions.Furthermore, additional programs such as *the Art Hotel Project* co-planned together with accommodation facility of the Port of Nagoya area, *the Akiya Saisei School (Vacant-houses Renovating School)* where vacant houses were renovated through workshops with participants, and cooperation with *the Minatomachi Garden Project* which promote community gardens could also be viewed together with this exhibition. We cordially hope visitors will find unique expansions of this exhibition through co-productions only possible by this port town.

Exhibition

礒井ゆい／臼井良平／遠藤俊治／オル太／城戸 保／クリス・チョン・チャン・フイ／コラクル＋渡辺英司／ゴードン・マッタ＝クラーク／鈴木悠哉／玉山拓郎／徳重道朗／中尾美園／ヒスロム／山本聖子

Yui Usui, Ryohei Usui, Toshiharu Endo, OLTA, Tamotsu Kido, Chris Chong Chan Fui, Coracle + Eiji Watanabe, Gordon Matta-Clark, Yuya Suzuki, Takuro Tamayama, Michiro Tokushige, Mien Nakao, hyslom, Seiko Yamamoto

本展ではまちをフィールドに、アーティストがこの港まちをリサーチし制作した新作、また日常の中で多義的に考察し制作された作品を展示することで、ひとつの「庭」を形成します。新作では、船で海へと出向き、港湾エリアの風景や様相を独自に捉えた作品や、港まちの地理や歴史的文脈を掘り下げ、土地への介入を試みた作品などが多数登場します。作品を通して、アーティストのまなざしが港まちの多様なあり方と交錯することで、私たちの思考をより広く深い世界へと導き出すきっかけになるでしょう。

Photo: Takashi Ito

アッセンブリッジ・ナゴヤ プレイベントの様子

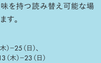
Project

L PACK.《UCO》

約20年間、空き家になっていた旧・瀬寿司。プレイベントから「空き家再生スクール」を経て息を吹き返した空間が、会期中人びとが集うカフェスペースになります。さまざまな人が訪れることで、多様な価値を持つ読み替え可能な場所へとその姿を変容させます。

- 日時｜2016.9.22（木・祝）14:00–16:00
- アーティスト｜L PACK.、オル太、コラクル＋渡辺英司、鈴木悠哉、徳重道朗、中尾美園
- 集合場所｜港まちボットラックビル1F ❶
- 進行｜服部浩之
- 定員｜15名（予約不要）
- 参加費｜無料（要展覧会パスポート）

下道基行 Motoyuki Shitamichi《見えない風景》



《見えない風景》は路上観察から見出だされる「言葉の地図」を作るワークショップ。これまで全国各地で展開され、プレイベントでも好評を博しました。今回はデザイナーの横諒宗と共に、港まちの「新しい地図」を作り、鑑賞者が体験することを試みます。またこれまでのワークショップのアーカイブを展示します。

- 地図配布・アーカイブ展示会場｜港まちボットラックビル1F ❶

Talk

参加アーティストによるギャラリートーク

展覧会場を巡るツアー形式のアーティストトーク。オープニングトークでは港まちボットラックビルを中心に、その周辺の変遷を巡ります。制作プロセスや背景など、作品についてアーティスト本人によるトークを聞きながら、作品を鑑賞いただけます。

------

vol. 1

- 日時｜2016.9.22（木・祝）14:00–16:00
- アーティスト｜L PACK.、オル太、コラクル＋渡辺英司、鈴木悠哉、徳重道朗、中尾美園
- 集合場所｜旧・名古屋税関港奥 エントランス ❷
- 進行｜服部浩之
- 定員｜15名（予約不要）
- 参加費｜無料（要展覧会パスポート）

------

vol. 2

- 日時｜2016.10.23（日）14:00–16:00
- アーティスト｜礒井ゆい、臼井良平、遠藤俊治、城戸 保、玉山拓郎、ヒスロム、山本聖子
- 集合場所｜旧・名古屋税関港奥 エントランス ❷
- 進行｜Minatomachi Art Table, Nagoya [MAT, Nagoya] プログラムディレクター
- 定員｜15名（予約不要）
- 参加費｜無料（要展覧会パスポート）

地域美学スタディ

本展を読み解くためのトークシリーズ。2000年以降、地方都市や地域を拠点とする建築家やアーティストが増加し、地域のコミュニティに根ざした活動や、公共性や社会性が高いアートプロジェクトのあり方が各地で問われています。「地域」がブームかされている今、改めて有効な社会とアートのあり方を模索します。

------

vol. 3 平野千枝子「食と場／ゴードン・マッタ＝クラークの実践を通じて」

ゴードン・マッタ＝クラークは、1970年代に郊外の住宅を切断する《Splitting（分裂）》などの作品を発表する一方、他のアーティストと共同で食堂「FOOD」を運営していました。都市の変遷を感じ取り、社会環境に直接的に関わったマッタ＝クラークの活動について、本展出品作を中心に考察します。

- 日時｜2016.10.13（木）19:30–21:00（15分前より開場）
- 会場｜港まちボットラックビル1F ❶
- ゲスト｜平野千枝子（山梨大学大学院准教授）
- 聞き手｜服部浩之
- 定員｜30名（予約不要）
- 参加費｜500円（1ドリンク付き）

Gordon Matta-Clark (FOOD) 1973

------

vol. 4 土屋誠一「国家／社会／アート ―日本の端から見えるもの」

東日本大震災、戦後70年の節目、イギリスのEU離脱など、この10年で世界は大きな変化の渦中にあり、絶体的な有領化が起こっています。沖縄に在住し、近年社会的な活動を積極的に展開する土屋誠一を迎え、今日のアートにおける公共性の可能性とその限界について探ります。

- 日時｜2016.10.20（木）19:30–21:00（15分前より開場）
- 会場｜旧・名古屋税関港奥（雨天の場合、会場変更）❷
- ゲスト｜土屋誠一（美術批評家／沖縄県立芸術大学准教授）
- 聞き手｜服部浩之
- 定員｜30名（予約不要）
- 参加費｜500円（1ドリンク付き）

「空き家再生スクール」報告会

現在、全国的に空き家が社会問題になっています。本展会場の1つ、旧・瀬寿司も20年間空き家でしたが、「空き家再生スクール」によって建築家、構造家、大工、参加者とともに再生しました。実践を通した「空き家再生スクール」の報告会を開催します。

- 日時｜2016.10.15（土）19:30–21:00（15分前より開場）
- ゲスト｜藤原 覚（構造家）、小林泰浩（株式会社丸協小牧支店長）
- 聞き手｜米澤 隆（建築家）
- 会場｜港まちボットラックビル1F ❶
- 定員｜30名（予約不要）
- 参加費｜500円（1ドリンク付き）

Workshop

コラクル＋渡辺英司「The Content of A Book｜本の中身／小さな貨物船」

要予約

これまで約1,000冊にも及ぶ出版を行ってきたコラクルと、アーティストブックを「運転手を乗せて移動する乗物」と考える渡辺英司によるワークショップ。今回の展示作品やそれまでに彼らが作ってきたものを手本にしながら、アイデアをどのようにして印刷物として形になるのか、そのプロセスを体験します。

- 日時｜2016.9.24（土）15:00–18:00
- 会場｜港まちボットラックビル ❶
- 講師｜コラクル＋渡辺英司（成立過剰あり）
- 定員｜15名（要予約・一方的方法）
- 参加費｜1,000円（1ドリンク付き）

トラベルムジカ Travel Musica「旅する楽譜とみなとまち」

要予約

作曲と演奏の体験ワークショップ。参加者の作品と演奏で港まちがコンサート会場になります。プラームスとチボドン屋を愛した音楽家・本田祐也の楽曲をもとに、世界各地で活躍する音楽家と一緒に作品を作り、今回はプレイベントで制作した新曲の再演やコースラスのお披露目コンサートとアーカイブを展示します。

- 日時｜2016.9.25（日）ワークショップ：10:00–16:00、コンサート：17:00–18:00
- 会場｜ワークショップ：愛和幼稚園 ❸、コンサート：港橋広場公園 ❹
- 講師｜渡邊尊恵、ジモン・ルメル、木村仁哉、森紀昭
- 定員｜15名（要予約・一方的方法）
- 参加費｜無料

●ワークショップ参加者のみコンサートにもぜひご参加ください。

- アーカイブ展示会場｜第3弦野コーポ1F ❺

Event

L PACK.×安田祥子「コーヒーとヴァイオリン」

要予約

2箱のアーティストによるコンサート。コーヒーをテーマにした曲や即興演奏など、L PACK.がつくりだす「コーヒーのある風景」にヴァイオリンがコラボレーションします。

- 日時｜2016.9.25（日）13:30–14:00
- 会場｜旧・瀬寿司 ❷
- 出演｜L PACK.、安田祥子（ヴァイオリニスト）
- 定員｜20名（要予約・一手的方法）
- 参加費｜500円（スペシャルドリンク付き）

ヒスロム「美整物 ―〈例えば〉を巡る」映像上映会

ヒスロムの展出品作の前編として位置づけられる映像作品《美整物 ―〈例えば〉を巡る》は2014年に京都芸術センターで展示されました。上映会・トークとして、一連のシリーズ作品の制作秘話や試みについて伺います。

- 日時｜2016.9.22（木・祝）19:30–21:00（15分前より開場）
- 会場｜港まちボットラックビル1F ❶
- 聞き手｜服部浩之
- 定員｜30名（予約不要）
- 参加費｜無料（要展覧会パスポート）

ヒスロム「パフォーマンス」

ヒスロムの本展出品作に関連したパフォーマンスを、展示会場にて行います。

- 日時｜2016.10.22（土）19:30–20:30（15分前より開場）
- 会場｜旧・名古屋税関港奥 ❷
- 定員｜30名（予約不要）
- 参加費｜500円

ワークショップ・イベント予約方法

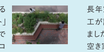
アッセンブリッジ・ナゴヤ事務局まで、電話・FAX・E-MAILでご予約ください。
ご希望のプログラム名、参加人数、氏名、年齢、電話番号、住所、メールアドレスを記入ください。

アッセンブリッジ・ナゴヤ実行委員会事務局
（受付時間 9:00–18:00）
● TEL｜052-654-7039 ● FAX｜052-654-8912
● E-MAIL｜booking@assembridge.nagoya

＊申込み受付後、こちらからご連絡いたします。
＊受付は先着順とさせていただきます。定員に達したものに関しては広報を終切らせていただきます。

Others ｜「パノラマ庭園 ―動的生態系にしるす―」をより楽しむための関連プロジェクト

「みなとまちガーデンプロジェクト」MAP ❻



土づくりからまちづくりを考える「みなとまちガーデンプロジェクト」は2012年にスタートし、これまで江川緑歩道の植栽整備を中心にコミュニティガーデンを造成してきました。今年は旧・名古屋税関港奥の庭を舞台に、散地内にハーブガーデンを作庭しています。www.minatomachi.jp/event/169

「空き家再生スクール」MAP ❷

長年空き家になっていた旧・瀬寿司の改修工事を大工が講師となり、ワークショップ形式で参加者と行いました。木造建築の仕組みや職人技を理解・習得し、空き家がまちの中に生きる存在として再生するプロセスを体験できました。生まれ変わった空間は会期中、L PACK.によりカフェスペースとして、人びとが集う場所として開かれます。

「アートホテルプロジェクト」MAP ❷

本展会場エリア内に位置する宿泊施設「ハーバーロッジなごや」に期間限定のアートルームが登場。参加アーティストの作品に彩られた特別な空間に宿泊し、港まちを満喫することができます。

「ハーバーロッジなごや」客室イメージ

●料金｜シングルルーム：4,100円／1名、ツインルーム：6,500円／2名（1泊素泊まり）
詳しくはアッセンブリッジ・ナゴヤウェブサイトをご覧ください。
＊部屋数には限りがありますので、部屋の指定はできませんのであらかじめご了承ください。

Photo: Takashi Ito

1

礒井ゆい Yui Usui

1980年東京都生まれ、埼玉県在住。お菓子の包み紙やシールなど身近な素材から、転写や銅版、インスタレーションなどを制作。緻密なリサーチのもと制作された、女性の社会的地位や置かれた状況をユーモラスに、時論やオーガンジーなどの薄らいい手仕事により言及した、ユーモアとアイロニーに富んだ作品シリーズを今回展示する。yuiusui.com

5

クリス・チョン・チャン・フイ Chris Chong Chan Fui

マレーシア出身。移住、経済、自然科学、映像などの分野における学際的なセスや方法論のもと、再提示を行う。近年は映像、版画、写真、インスタレーションなど多様な作品を発表。今回はクアラランプールで撮影した、集合住宅の均質的空間と住人が織り成す日々の喧騒の対比を絵画的に捉えた《BLOCK B》を展示する。www.chongchanfui.com

9

玉山拓郎 Takuro Tamayama

1990年岐阜県生まれ、東京都在住。展示空間に合わせ即興的に構成していくインスタレーションを数多く発表。「脱風」をテーマとしたソロや、美術史やコンセプトに擁われず、空間から立ち上がるイメージに重きをおく作品制作を行う。今回は「庭」というテーマから、先史時代の遺跡「ストーンヘンジ」への独自の再考を試みる。takurtam.wix.com

13

下道基行 Motoyuki Shitamichi

1978年岡山県生まれ、愛知県在住。その土地の観察とフィールドワークをもとに、日常に埋没しられもしている物事について、写真やテキスト、オブジェクトなどを組み合わせ、編集することで視覚化させる作品を発表。今回はワークショップ《見えない風景》から発展した港まちの新たな地図をデザイナーの横諒宗とともに制作する。m-shitamichi.com

2

臼井良平 Ryohei Usui

1983年静岡県生まれ、東京都在住。日常で見つけた違和感や一見見過ごされそうな営業に目を向け、既存のものの見方に変化をもたらす作品を、多彩な表現により制作。近年は、プラスチック容器の形態をガラスに変換した「転写シリーズ」を発表し、今回は新作旧作を交え、展示空間に合わせた新たな見立てを行う。

6

コラクル Coracle

詩人や編集者のサイモン・カッソと画家・版画家のニコラ・ヴァン・ホーンによる出版社。コラクル（小さな舟）として1970年代よりロンドンで活動。リチャード・ロングやトニー・クラッグ、イアン・ハミルトン・フィンレイなど多数のアーティストや詩人とともに、アーティストブックやカード、ポスターなどの出版、現代美術の画廊活動を行う。coracle.ie

10

徳重道朗 Michiro Tokushige

1971年愛知県生まれ、同地在住。森や山といった自然のイメージと、窓やジオラマなど人工的な風景をモチーフに、日用品を用いた作品を制作。ユーモラスで概念的な独自の見立て手行い、イメージと現実の「ズレ」を表出させる。今回は「庭」を再解釈し、鑑賞者が作品内へと入り込んでいく大型インスタレーションを発表。www.eonet.ne.jp/~nakaomien

14

中尾美園 Mien Nakao

1980年大阪府生まれ。京都府在住。日本画の伝統的な手法を用い、仏画や水墨画等の絵画としての仕事をする傍ら、近年では現代の生活の中で人びとが日々消失する「モノ」や「記憶」を丹念に模写した絵巻を作成している。今回は、慣しおりつも問題した港まちの日・常生活2軒を調査・実測した記憶を絵巻にして発表する。www.eonet.ne.jp/~nakaomien

3

オル太 OLTA

井上徹、川村和秀、青藤隆文、長谷川義朗、メグ忍者、Jang Chi-ho各氏によるアーティストコレクティブ。古くより伝わる風習や儀礼、現代のサブカルチャーに着想を得て、巨大彫刻やインスタレーションの制作、集団による時体表現を通じて社会との対峙を試みている。今回は展示室である「旧・揚倉庫」の場所性を反映した制作を発表。www.olta.jp

7

遠藤俊治 Toshiharu Endo

1983年愛知県生まれ、同地在住。名古屋を拠点に絵画を制作。作品の99%の風景に代表されるシュビアンゲモールを描いた《イオン」シリーズや、路上の植木鉢、ペットボトル、自転車のサドルなどをモチーフにした「日常の断片」シリーズなどがある。今回は新作旧作を交え、展示空間に合わせた新たな見立てを行う。絶妙な視点のバランスにより描かれた絶妙な構図に注目。

11

渡辺英司 Eiji Watanabe

図鑑から切り抜かれた植物や蝶のイメージを、ハサミやカッターを用いて、ときどきなメダイアを用いた作品を国内外で多数発表。近年はギャラリースペースの改修・企画を行い、若手や海外作家の発表の機会を提案するオーガナイザーとしても活動。今回はコラクルと協働し、彼らが作った本からイメージを抽出し作品にすることを試みる。

15

ヒスロム hyslom

加藤至、星野文紀、吉田祐による、アーティストコレクティブ。2009年より関西を拠点に活動。場所の記憶や存在や実感しながら、意味のないように見える遊びや行為を通して、土地を知る「フィールドプレイ」を行い、映像やパフォーマンス、彫刻などを発表。今回は在内川と庄から名古屋港へと1本の丸太を運ぶ壮大な彫作を制作する。hyslom.com

4

城戸 保 Tamotsu Kido

1974年三重県生まれ、愛知県在住。主に絵画、メグ忍者、Jang Chi-ho各氏によるアーティストコレクティブ。古くより伝わる風習や儀礼、現代のサブカルチャーに着想を得て、巨大彫刻やインスタレーションの制作、集団による時体表現を通じて社会との対峙を試みている。今回は展示室である「旧・揚倉庫」の場所性を反映した制作を発表。www.olta.jp

8

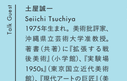
鈴木悠哉 Yuya Suzuki

1983年福島県生まれ、北海道在住。自身が歩いた距離から人工物や物、建築などのフォルムをモデリングとして切り取り、抽象化して描くドローイングシリーズや、今回は港まちに滞在し、あちこちに爆ぜ上がいたドローイングの展示と、それらを壁面や印刷物、立体などに置き換えた展示により、港まちにイメージを還元する。yuya-suzuki.tumblr.com

12

山本聖子 Seiko Yamamoto

1981年大阪府生まれ、同地在住。均質的に区画整理されたニュータウン独特の空気や人、生活の在り方への違和感を制作の出発点としている。近年は海外での滞在経験から、身体性やアイデンティティについて興味をもち、作品は埋立地である名古屋港エリアから時代「土地の等高さ」といったキーワードをもとに新作を発表。www.seikoyamamoto.net



16

L PACK. エルパック

小田桐奨と中嶋哲矢のユニット。「コーヒーのある風景」をテーマに、アートやデザイン、建築、飛騨などの領域を横断し、コミュニケーションの場を創造する。名古屋ではみゅトリエコーレ2013期間中、NAKAYOSHI CULTIVATION CENTER AND STAND CAFE」を運営。今回は旧・瀬寿司を会期中カフェスペースとして開く。www.lpack.jp

Talk Guest

土屋誠一 Seiichi Tsuchiya
1975年生まれ。美術批評家、沖縄県立芸術大学准教授。著書（共著）に「私領域する戦後美術」（小学館）、「実験場1950s」（東京国立近代美術館）、「現代アートの目記」（美術出版社）など。

Credit

1. 《shadow work》2012–2016 ph.木藤伸也｜2. 《Orange》2013｜3.《なまの松子》2016｜4.《KOGI Mon》2014｜5.《600分の半 6番 ～ 着てた 船》2016｜6.《BLOCK B》《oden sill》2008｜7.《コラクル 6 Jane Bowles》《小学館》、「実験場 1950s」《東京国立近代美術館》、「現代アートの目記」《美術出版社》など。

平野千枝子
Chieko Hirano
山形大学大学院芸術文化教育講座准教授。新潟県美術博物館、東京都新美術館開設準備室、東京都現代美術館学芸員を経て2007年より現職。主な論文に「ゴードン・マッタ＝クラーク作品における料理の意味」『美学』237号、2010年。

1. 《shadow work》2012–2016 ph.木藤伸也｜2. 《Orange》2013｜3.《なまの松子》2016｜4.《KOGI Mon》2014｜5.《600分の半 6番 ～ 着てた 船》2016｜6.《BLOCK B》《oden sill》2008｜7.《コラクル 6 Jane Bowles》《小学館》、「実験場 1950s」《東京国立近代美術館》、「現代アートの目記」《美術出版社》など。